

なるほど!
ザ・ファンド

Vol.286

Q.

毎月一定の金額を資産から取り崩す場合、
資産を運用しながら取り崩すことにメリットはあるの？

A.

運用せずに毎月一定金額を取り崩すより、必要な資産
(元本) が少なくて済みます。

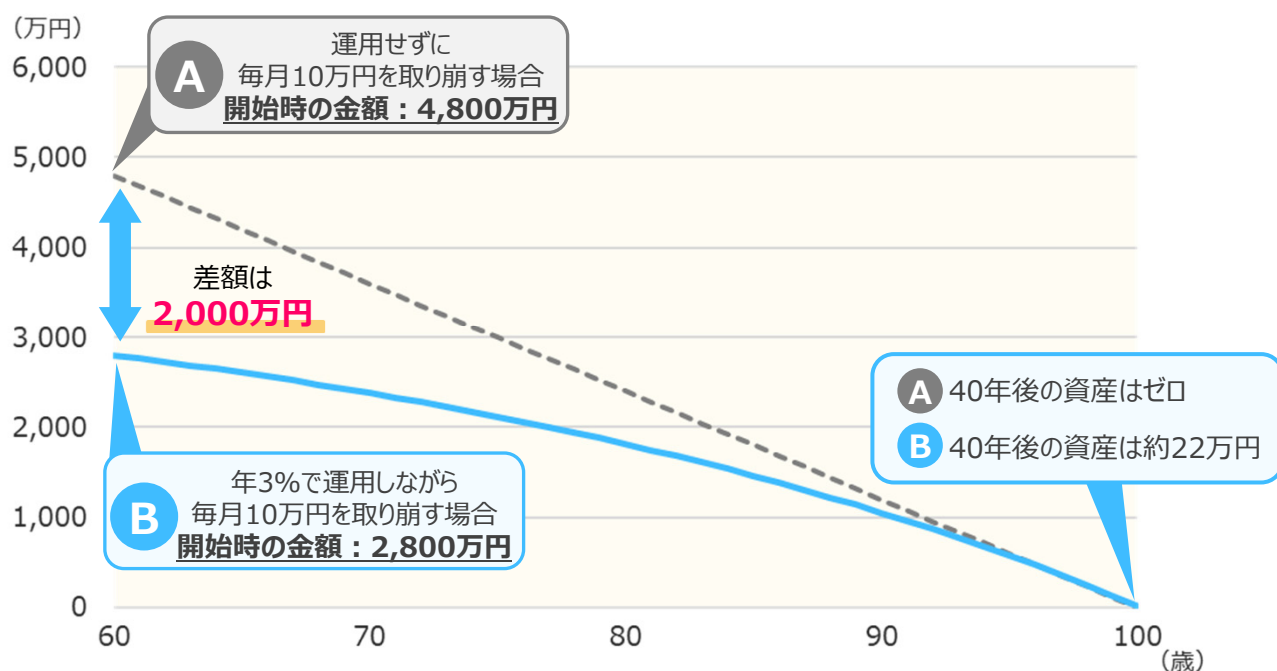
長寿化に伴い、従来のライフスタイルも多様化が進展していることから、資産の寿命を延ばすことが重要になってきます。

そのため、自身の資産から取り崩す場合でも、資産（元本）を運用しながら取り崩した方が、必要な元本が少なくて済みます。

取崩し期間が長いほど、必要な元本の差が大きくなる結果に①

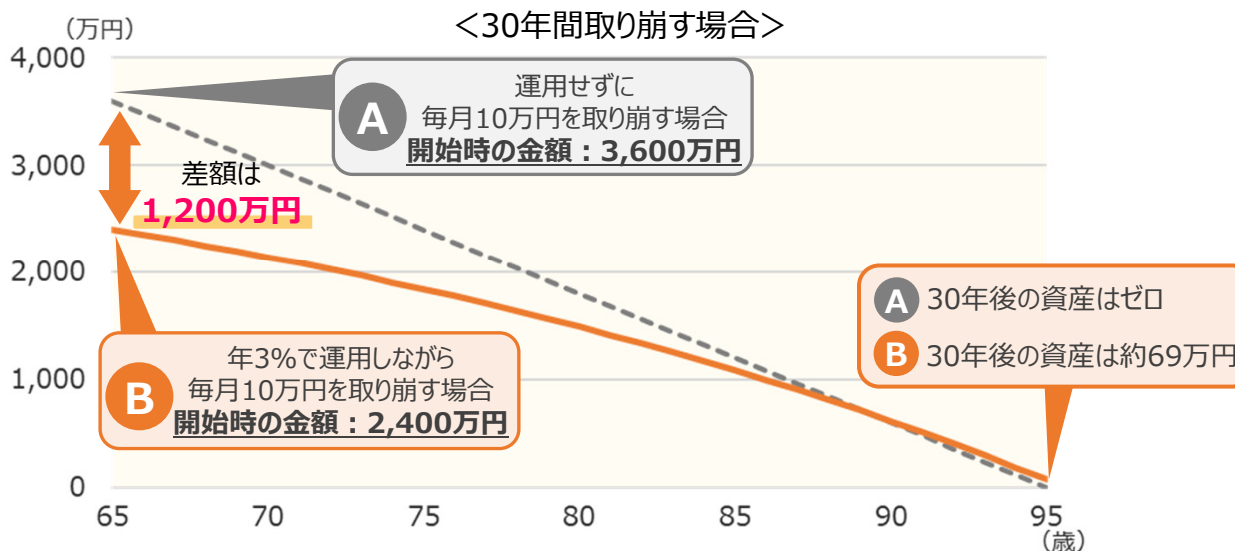
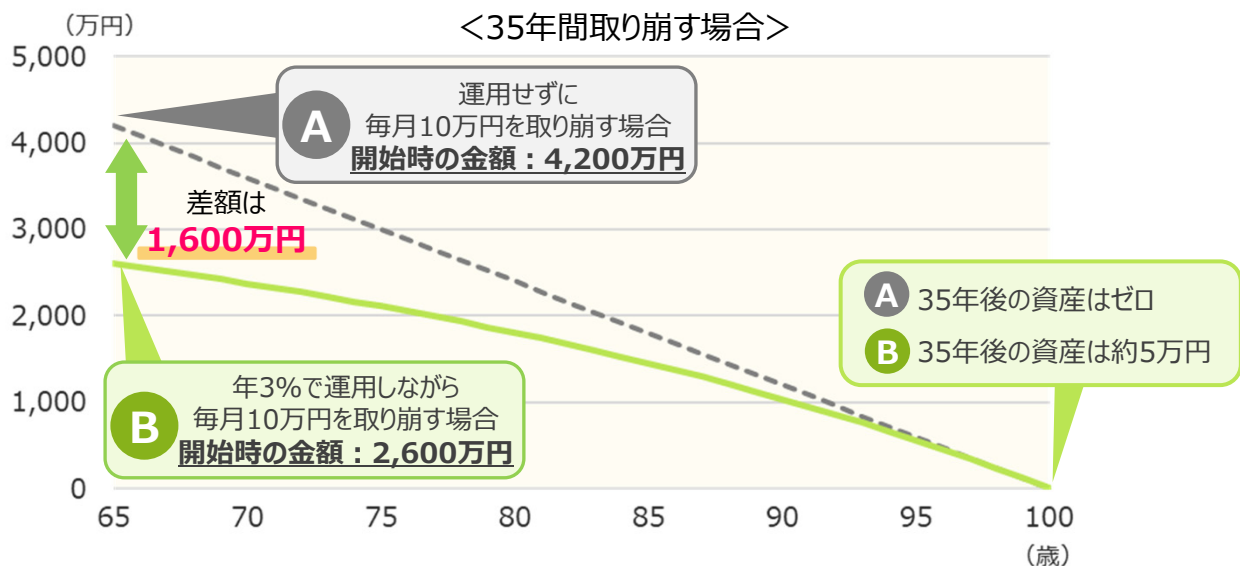
例えば、60歳から40年間、毎月10万円（年間120万円）を**A：運用せずに取り崩す場合**、**B：年3%で運用しながら取り崩す場合**では、必要な元本に2,000万円の差が出ることになります。

<40年間取り崩す場合>



※上記は一定の前提条件に基づいて三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションの結果であり、実際の投資成果ではありません。経費等は考慮されていません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。開始時の金額は端数のない金額でシミュレーションしているため、Bのケースでは期間満了時には若干の資産が残っています。

取崩し期間が長いほど、必要な元本の差が大きくなる結果に②



※上記は一定の前提条件に基づいて三井住友DSアセットマネジメントが行ったシミュレーションの結果であり、実際の投資成果ではありません。経費等は考慮されていません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。開始時の金額は端数のない金額でシミュレーションしているため、Bのケースでは期間満了時には若干の資産が残っています。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品をご中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会